

ラーメン「ばり嗎」のウィズリンク

# シンガポールに出店

## 11月上旬 東南アジア展開へ

ラーメン店「ばり嗎」などを展開するウィズリンク（広島市安佐南区）は、東南アジアに進出し、2015年までに50店の出店を目指す。11月上旬、初の海外店をシンガポールに開く。日本食のブームが高まる東南アジアに成長を求める。

（山本賢三朗）

1号店は「ばり嗎」となて、しょうゆとんてんがメイン。11年12月に設立した現地子会社の直営で、シンガポール中心部のタンクリン地区に開く。広さ約132平方メートルで50席。年約1億円の売り上げを見込む。

現地では脂が多く辛いラーメンが好まれる。15年までにシンガポールは900円前後と、現地の一般的なラーメン店の約2倍の水準に設定する。

1号店は「ばり嗎」となて、しょうゆとんてんがメイン。辛みそ味は激辛トウガラシのハバネロを使う。麺やスープ、たれなどは日本から送る。価格は900円前後と、現地の一般的なラーメン店の約2倍の水準に設定する。



ばり嗎タンクリン店の外観のイメージ

南アジアで日本食ブームが高まっていることから、出店を検討してきた。江口歳春社長は「インドネシアやベトナムでは、日本のラーメンはまだ導入期。今後伸びる余地は大きい」と話している。